

日港労連・港荷労協23春闘 速報第5号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会 書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会 事務局
住所 144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2 日港福会館3階 電話03-3732-5503
ホームページ <http://nikkororen.jp/> (発行人) 岡部 正浩

4/3 第2回関連交渉開催、業側回答保留に対し労側、 魅力ある港湾労働確立に向け関連專業基盤強化、 適正作業料金確保を背景に中央港湾団交で 取り組み強化表明！

1. 第2回関連労使交渉は、冒頭業側代表より「現在、内部調整中であることから回答については保留としたい」とあった。
2. 続いて、竹内委員長より3月28日開催の第3回中央団交で、日港協に対し所謂政府施策に則り各港運專業・現業事業者が大幅賃上げに資する適正下払い料金確保がスムーズに取り組めるよう書面での発信を要請し日港協もこれに答える旨回答。
とりわけ港運元請事業者に対し労側要請と公取要請に基づき適正料金確保について取り組む旨「お願い」として書面で以て発信することになった旨報告を行った。
また、関連事業者が5.9協定の実施に向けた取り組み、所謂「支援等」が行えるよう日港協に対し併せて引き続き要請を行っていることと関連基盤強化に向け事前協議体制に関連職種を加えるよう再要求を行っていることについても照会した。
3. しかし、現在に至るも難航している「所謂事前協議要求」をはじめ、これまで様々な関連職種に於ける基盤強化・労働環境改善に向けた協定は締結してきたが未だ「手に乗っていない」実情が赤裸々となっている点について労使双方認識は一致した。
4. よって、労側より23春闘中央団交をとおして取り組み強化を改めて表明のうえ、次回交渉については未定とし先ずはこうした中央団交の推移を見極めることを確認し第2回交渉を終了した。